

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	研究ゼミナールA (Seminar of Study A)		
ナンバリングコード	L31204	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 応用レベル 研究・資格・インターンシップ
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 前期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L120410	クラス名	池見研究室
担当教員名	池見 洋明		
履修上の注意、履修条件	地理情報システムを使用しますので、地理情報技術もしくは地理情報処理演習の受講が必須条件です		
教科書	必要に応じて配布します		
参考文献及び指定図書	必要に応じて配布します		
関連科目	地理情報処理演習、地盤工学、測量学および実習		

○基本情報							
授業の目的	空間情報工学、応用地質学に関する知識、技術の習得を行ないます。						
授業の概要	このゼミナールでは地理情報システム技術の応用編としてデータの作成を行ないます。この中で既存の紙地図情報のデジタル化、現地調査、測量などを実施します。また、ここで作成、取得したデータは4年次の卒業研究データとして活用することになります。						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「演習等形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「該当しない」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>「実習、フィールドワーク」</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「演習等形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
(1) 授業の形式	「演習等形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」						
(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」						
地域志向科目	該当しない						
実務経験のある教員による授業科目	該当しない						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	双方向に授業に関わる積極性をもつ。			25点
【知識・理解】	地理情報システムや地域の地形・地質など地理空間情報に関して理解する。			25点
【技能・表現・コミュニケーション】	地理情報システムの基礎技術を用いて、様々な空間的、地理的な課題に関して地図化、可視化を行なえる。			25点
【思考・判断・創造】	目的に応じた文章作成、地図などの利用や文献等の適切な情報を収集できる。			25点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)  
 進捗状況に応じて、卒業研究を見据えた課題を提示します。その課題に対して各回で進捗状況を確認して評価します。期末テストは行ないません。

○その他

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	研究ゼミナールA (Seminar of Study A) 池見 洋明	授業コード	L120410
<b>学修内容</b>				
<b>1. ガイダンスと課題の説明</b> ゼミナールのスケジュールと課題を説明します。				
	予習	進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る		約2時間
	復習	各課題に対してインターネット等を使って調査する		約2時間
<b>2. 課題調査</b> ゼミナールで行なう課題を選定して、その調査を実施する。				
	予習	進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る		約2時間
	復習	各課題に対してインターネット等を使って調査する		約2時間
<b>3. 課題調査</b> 地理情報処理技術に関する技術習得や課題調査を実施し、定期的に進捗状況を報告する。				
	予習	進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る		約2時間
	復習	各課題に対してインターネット等を使って調査する		約2時間
<b>4. 課題調査</b> 地理情報処理技術に関する技術習得や課題調査を実施し、定期的に進捗状況を報告する。				
	予習	進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る		約2時間
	復習	各課題に対してインターネット等を使って調査する		約2時間
<b>5. 課題調査</b> 地理情報処理技術に関する技術習得や課題調査を実施し、定期的に進捗状況を報告する。				
	予習	進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る		約2時間
	復習	各課題に対してインターネット等を使って調査する		約2時間
<b>6. 課題調査</b> 地理情報処理技術に関する技術習得や課題調査を実施し、定期的に進捗状況を報告する。				
	予習	進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る		約2時間
	復習	各課題に対してインターネット等を使って調査する		約2時間
<b>7. 課題調査</b> 地理情報処理技術に関する技術習得や課題調査を実施し、定期的に進捗状況を報告する。				
	予習	進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る		約2時間
	復習	各課題に対してインターネット等を使って調査する		約2時間
<b>8. 課題調査</b> 地理情報処理技術に関する技術習得や課題調査を実施し、定期的に進捗状況を報告する。				
	予習	進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る		約2時間
	復習	各課題に対してインターネット等を使って調査する		約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	研究ゼミナールA (Seminar of Study A) 池見 洋明	授業コード	L120410
<b>学修内容</b>				
<b>9. 課題調査</b> 地理情報処理技術に関する技術習得や課題調査を実施し、定期的に進捗状況を報告する。				
	予習	進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る		約2時間
	復習	各課題に対してインターネット等を使って調査する		約2時間
<b>10. 課題調査</b> 地理情報処理技術に関する技術習得や課題調査を実施し、定期的に進捗状況を報告する。				
	予習	進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る		約2時間
	復習	各課題に対してインターネット等を使って調査する		約2時間
<b>11. 課題調査</b> 地理情報処理技術に関する技術習得や課題調査を実施し、定期的に進捗状況を報告する。				
	予習	進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る		約2時間
	復習	各課題に対してインターネット等を使って調査する		約2時間
<b>12. 課題調査</b> 地理情報処理技術に関する技術習得や課題調査を実施し、定期的に進捗状況を報告する。				
	予習	進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る		約2時間
	復習	各課題に対してインターネット等を使って調査する		約2時間
<b>13. 課題調査</b> 地理情報処理技術に関する技術習得や課題調査を実施し、定期的に進捗状況を報告する。				
	予習	進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る		約2時間
	復習	各課題に対してインターネット等を使って調査する		約2時間
<b>14. 課題調査</b> 地理情報処理技術に関する技術習得や課題調査を実施し、定期的に進捗状況を報告する。				
	予習	進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る		約2時間
	復習	各課題に対してインターネット等を使って調査する		約2時間
<b>15. 中間報告</b> これまでの成果の中間報告を実施する。				
	予習	進捗状況を客観的に評価し、問題点等の改善を図る		約2時間
	復習	各課題に対してインターネット等を使って調査する		約2時間
<b>16.</b>				
	予習			
	復習			